



Communication on Progress

2017年度報告

対象期間 : 2017年1月 ~ 2017年12月

原田鋼業株式会社

2018年1月24日

トップステートメント	p.3
グローバル・コンパクトの 10 原則	p.4
会社概要	p.5
2017年度活動の基本方針	p.6
人権分野に関する活動報告	p.7
労働分野に関する活動報告	p.8
環境分野に関する活動報告 (その 1)	p.9
(その 2)	p.10
腐敗防止分野に関する活動報告	p.11
その他の活動報告 (地域貢献を目指して :その 1)	p.12
(地域貢献を目指して :その 2)	p.13
(地域貢献を目指して :その 3)	p.14
(世界の子供たちのために)	p.15
(世界への働きかけ)	p.16

国連の提唱する人権、労働、環境および腐敗防止に関する普遍的原則である『国連グローバル・コンパクト』に、当社は2011年1月から参加しています。

社内外での積極的なCSR活動の取り組みを通じて、グローバル企業として責任ある経営を推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

2018年1月24日

代表取締役社長

原田憲太郎

グローバル・コンパクト10原則



人権	企業は、 原則 1： 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し 原則 2： 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働基準	企業は、 原則 3： 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し 原則 4： あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し 原則 5： 児童労働の実効的な廃止を支持し 原則 6： 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
環境	企業は、 原則 7： 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し 原則 8： 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 原則 9： 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
腐敗防止	企業は、 原則 10： 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

会社概要



会社名	原田鋼業株式会社
本社	広島県福山市大門町5丁目6-35 〒721-0926 TEL.084-941-3111 (代表) FAX.084-941-1312
資本金	3,000万円
創業	昭和20年10月
設立	昭和41年8月6日
年商	51億6,300万円(51期)
代表者	代表取締役会長 原田 弘人 代表取締役社長 原田 憲太郎
従業員数	120名(グループ合計)
グループ	福山倉庫運輸株式会社 スチールプロ株式会社 有限会社クリーンライフ

国連グローバル・コンパクトへの支持を表明して7年目である本年度は、4分野すべてにおける実践的活動を目指すと共に、関連するステークホルダーへのグローバル・コンパクト支持の呼び掛け、及び10原則に沿った会社運営と社員の意識レベル向上を図る。

また、2011年度から取り組んできた「身近で誰もができる活動」の幅を無理のない範囲で広げていくとともに、その活動そのものの定着を目指す。

人権分野に関する活動報告



本年度の活動目標・内容		結果と評価		来年度の活動目標・内容
国籍、性別、障害者などに対する差別、偏見の排除	性別による偏見排除のない人事考課の基準作りと、能力、適性に応じた職務、役職、ポストへの適正配置の仕組み作り	本年度は、女性の係長昇進者が1名誕生。現在、退職者による増減はあるものの課長職1名、係長職5名、主任職2名で、女性社員の半数以上が役職者として勤務。	今後も継続して、性別による偏見のない人事に取り組むとともに、能力、適性に応じた職務、役職、ポストへの適正配置の仕組み作りを目指す。	
		総務部門、品質管理部門では、男女の区別なく能力と適性に応じた形でのリーダーシップ発揮による業務遂行が行われるようになった。		
	評価基準の見直しと評価者への教育	昨年行った筆記試験、実技試験の標準化と複数の試験官による評価の導入と、評価者同志の意見交換による意識レベルの向上により、改善が進んできた。	今後も継続して、評価基準の見直しと評価者への教育を進めていくことで、採用における不公平の排除を目指す。	
世界の子供たちが安全で健やかに育つ環境づくり支援	マラリア撲滅運動への参加 エコキャップ運動への参加	僅かながらの支援であるが、毎年継続して募金活動を行うことができた。社員ひとりひとりにもできることがあると、個人の意識にも変化が現れ始めた。 参照：『その他の活動報告（世界の子供たちのために）』	今後も継続して、支援活動を行っていく	

労働分野に関する活動報告



本年度の活動目標・内容		結果と評価		来年度の活動目標・内容	
役職、職能レベルの基準作りと教育の仕組み作り	個人別でのキャリア育成を目的とした長期的な教育の仕組み作り		キャリア育成を目指し、外部研修を含む技能講習等の受講を計画し、運用することができたが、生涯キャリアの視点に立った計画には至っていない。		継続して、個人別でのキャリア育成を目的とした教育の仕組み作りと生涯キャリアの視点に立った教育の仕組みを目指す。
従業員の多様性の尊重	経験と年齢に応じた働きやすい環境作りと遣り甲斐の持てる仕事の提供		60歳を超えた継続雇用者は、9名。現在、60歳代5名、70歳代4名となる。そして、最高齢の社員は78歳で、現在も現役としてご活躍中。		継続して、単に高齢者の雇用に止まらず、その経験と年齢に応じた働きやすい環境作りと遣り甲斐の持てる仕事の提供を目指す。
働きやすい環境の整備	子育て、介護に対する支援制度整備と運用の仕組み作り		子育て支援の一環で、勤務時間帯を変更しての勤務に加え、子育てのための半日単位での有給休業を認める制度を採用し、有給休業を取り易くする等の改善を進めた。		継続して、働きやすい環境作りとその効果的な運用を目指し、制度の周知とその活用を促していく。特に、健康管理面では、メンタルヘルス対策にも力を入れ、アンケートの実子等、その仕組み作りと効果的な運用を目指す。
	健康管理のための補助制度運用		本年度も、保険適用外であるインフルエンザ予防接種の費用補助として、半額を会社負担とした。また、職場環境に対する「社員相談窓口」と併設で、医療機関の紹介も始めた。		
	職場環境に対する「社員相談窓口」の運営と浸透		昨年、総務部で「相談窓口」を設置してから、少しずつ相談者が現れるようになり、相談者と力を合わせての職場環境改善を図っている。業務上の問題点については、「自己チェック表」という様式を用いた自己評価の仕組みの中で職場の問題点を取り上げ、細かな問題へも対することで、職場環境の改善を進めている		

環境分野に関する活動報告 (その1)



本年度の活動目標・内容		結果と評価	来年度の活動目標・内容
輸送効率の5%アップ 合い積みが可能配送先の確保と配送ルートの見直しで配送効率のアップ エコ運転の励行	2015年から始まったトレーラーの導入の影響と小口配送増加の影響もあり、燃料1ℓ当りの配送距離は昨年比2%ダウン、1ℓ当りの配送重量は昨年比0.7%ダウンの結果に終わった。	継続して、合い積みが可能配送先の確保と配送ルートの見直し等の改善を進め、配送効率の向上を目指す。	
梱包資材のムダ削減とリサイクル 梱包用木材の回収率アップと再利用促進 再利用時の選別基準明確化	梱包用木材のリサイクル活動も定着したためか、生産トン数当たりの木材消費量は横這い状態。 昨年設定した、用途、客先に応じた再利用時の選別基準を活用して選別し、安全確保も図ることができた。	継続して、お客様への協力を呼びかけ、リサイクル促進を図るとともに、自社内でも廃材の有効活用やムダ排除を進めていく。	

< 輸送効率の5%アップ >

合い積み配送の促進と配送ルートの見直し
 総配送重量、合い積み配送も増えてきましたが、トレーラー導入の影響もあり、軽油1ℓ当りの走行距離は2%下がってしまいました。ただ、合い積み配送の促進で、軽油1ℓ当りの配送重量は、なんとか昨年並みを維持することが出来ました。今後は、如何にトレーラーを効率よく回転させるか、この点に重点を置いた配車計画を立て、トータルでの輸送効率アップを目指していきます。

エコ運転の励行
 添乗指導、タコグラフでのチェックなどの個別指導等、地道な活動を継続しています。

< 梱包用木材のリサイクル >

梱包用木材のリサイクル
 昨年より始めた、工場用木材の工場内一か所での保管により、在庫木材の管理も向上し、木材へのダメージを減らす活動と相まって、再利用回数も微かですが、増加傾向にあります。来年は、本社工場増築工事も完了し、加工量の増加も見込まれている中、更に徹底した梱包用木材の管理と再利用が要求されるようになるはず。工場のメンバーも壊れにくい井桁スキットの製作とその取扱い方法の改善を進め、更なる再利用率アップを目指しております。

環境分野に関する活動報告 (その 2)



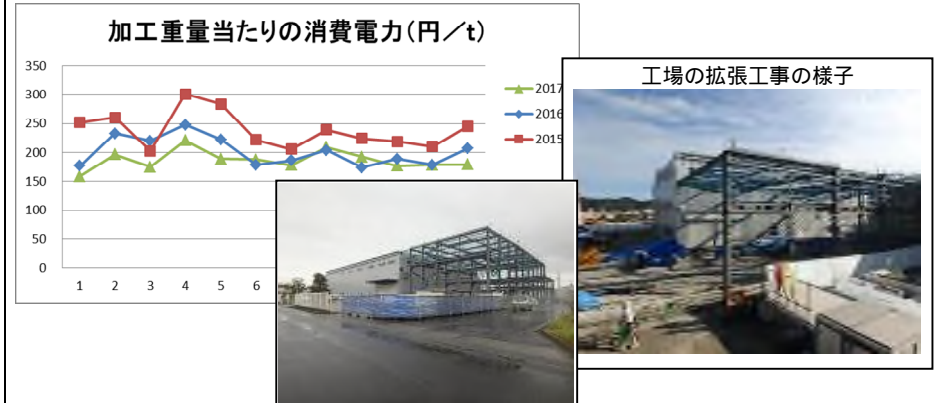
本年度の活動目標・内容		結果と評価	来年度の活動目標・内容
工場全体としての生産効率向上と無駄なエネルギー消費削減で省エネ工場実現	クールビズ、ウォームビズ 無駄な照明、待機電力等の削減	日常業務の中での電力削減活動は定着。老朽化した電気機器の省エネタイプへの更新も進めており、消費電力の削減に寄与している。	今後も継続して、省エネ活動、生産効率向上活動を進め、省エネ工場実現を目指す。
	第 7 工場への生産集約と作業効率改善で加工重量当たりの消費電力 2.5% の削減	作業効率の改善活動の結果、2017 年前半の使用電力量を大幅に下げることができた。後半は、工事の影響により、前年と比べ使用電力にあまり変化が見られなかった。	

無駄な電力の削減



クールビズ (26℃) & ウォームビズ (22℃)
 クールビズ、ウォームビズ活動もすっかり定着。
 事務所では、エアコンの温度設定は当然として、扉の開閉、ブラインドによる太陽光の調整等での冷暖房効果を高める活動も継続して行っています。
 最近では、設定温度も外気温によって微調整する等の細やかな対応も始め、作業しやすい環境を維持しつつの省エネ活動も進めています。
無駄な電力削減
 休憩中の照明、装置類の電源 OFF 活動、パソコンやテレビ等の待機電力削減の省エネ活動は継続。また、今年から来年にかけて、通信・IT機器の省エネタイプへの切替も順次進めています。

< 省エネを目指した工場 >



7工場の更なる省エネ化
 2017 年は第 7 工場拡張工事に着手。材料・製品を置きやすくして作業スペースを確保し、トラック搬入出スペースも広げ、作業の効率化と安全性向上を目指します。
 また、拡張工事完了後は、屋根全面に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーでの操業も目指し、新たな側面から環境問題にも取り組んで参ります。この太陽光パネル設置には、太陽光の遮熱効果もあり、夏場高温になる工場内の作業環境改善にも役立ち、快適な工場作りに一役買ってくれるものと期待しています。
 日常の改善活動の成果もあって、単位加工重量当たりの消費電力も、
 2015 年 236 円 / t 2016 年 200 円 / t 2017 年 186 円 / t
 と、2015 年比で 21% の電力削減を果たすことができました。
 2018 年には第 7 工場拡張工事も完了。更なる省エネ工場を目指しています。

腐敗防止分野に関する活動報告



本年度の活動目標・内容		結果と評価	来年度の活動目標・内容
官公庁等の入札に関する談合への関与禁止	入札への積極的参加の姿勢を示すことにより、業界内での不当な価格操作を排除	件数は少ないものの、入札物件に対する直接応札を行うことで、当社の姿勢を業界内に示す活動を継続中。業界内での公正な競争が行われる下地作りに励んでいます。	継続して、この活動を進めることで、談合等の腐敗防止を目指す。
得意先や仕入先との適切な関係	仕入先への情報提供と協議の場を設けることで、健全なサプライチェーン構築	苦情、クレーム等を含む顧客要求について、仕入先、外注先との情報共有を図るとともに、意見交換の場としての定例会議開催。2017年度は、相互の発注方法・製造方法の改善によるコスト低減や作業負荷偏重を防ぐ活動を進め、ある程度の成果を得ることが出来た。	継続して、仕入先への情報提供と協議の場を設けることで、健全なサプライチェーン構築を目指す。
	交際費等の明確化による社内自浄活動の推進	以前からあった事前申請の仕組みを徹底させることで、社員への意識付けには役立った。	継続して、啓蒙活動を行うことで、強要や贈収賄の発生しない土壌を維持していく。

その他の活動報告 (地域貢献を目指して :その 1)



イベント

福山城写生大会後援

受付風景



写生風景



表彰式・展示会



当社の会長が代表を務める「明るい福山を考える会」の主催する「福山城写生大会」も、今年で第12回を迎えました。

昨年に続き、今年も晴天に恵まれ、たくさん子どもたちが参加してくれました。

毎年のことですが、子供たちの真剣な目つきで絵を描く姿や、描き終えて元気いっぱい笑顔で走り回る姿を見ると、今年も写生大会を開催してよかったと思っています。

完成した作品の展示会には、多くの方が訪れて賑わいました。大会最終日に行われた表彰式では、恥ずかしくて呼ばれても表彰台に出てこない子、お母さんと離れるのが嫌で泣きながら表彰状を受け取っている子、思わず笑みがこぼれる会場の雰囲気でした。

公園の環境保全

仲富池桜公園の植樹と剪定

桜満開の公園



仲富池桜公園は、当社の本社所在地である福山市大門町にある公園で、桜の名所となっています。桜が咲き始めると散歩やお花見を楽しむ方も多くいらっしゃいます。

この桜は、当社の初代会長、原田靖夫が、地元の方々に喜んでいただければと、ため池の周りに桜の木を植えていったのが始まりです。現在では、その時の木々も老木と呼ぶに相応しいものになっています。18mと小さかった苗木も、10m以上と、すっかり大きく成長し、何本も立ち並んだ美しい公園となりました。桜は愛情をもって育てれば応えてくれる木です。これまで関わった方々が、愛情を持って接して下さっていることがわかります。

当社では、この初代会長の意思を尊重し、地元の皆様に愛される公園造りの一助となればとの思いから、剪定作業や植樹など、できる範囲でのお手伝いを続けております。木は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収し、大雨・土砂災害から土地を守ってくれ、私たちの心に安らぎを与えてくれます。桜は剪定に弱いですが、専門家と協力し、緑化運動、地域美化活動として、今後も続けて美しい公園を作っていきたいと考えております。

春になると、毎年多くの方が、花見にいらっしゃいます。地元の方が歩いて行ける花見スポットとして親しまれています。散歩やジョギングのコースになっているようです。

その他の活動報告 (地域貢献を目指して :その 2)



スポーツ活動

<卓球部>

日本卓球リーグ2部優勝



後期日本卓球リーグ



ホームマッチ
地元の声援に押されて頑張る姿



応援くださった地元の方



さあ、試合開始



ダブルス線



昨年の日本卓球リーグ前期大会では2部降格となりましたが、後期大会で2部優勝、1部復帰を果たすことが出来ました。3冠に輝いた選手もおり、地域に明るいニュースを届けてくれました。

来年の前期大会は、再び1部での戦いです。

1部では、リーグ戦7試合の内、1試合を地元福山で開催することができます。

このホームマッチは毎年恒例のようになっており、地域の愛好家や学生達も楽しみにしておられます。今年も多くの方が、応援に来て下さり、声援が選手の力となりました。

残念ながら、1部の壁は厚く、今までホームマッチで勝利したことがありません。2018年こそは、地元の方にチームが勝利するところを見て頂けるよう、部員一丸となって練習に励んでいます。

<フットボールクラブ>

中国リーグ昇格決定



広島県社会人サッカーリーグ



本社のある大門地区出身者を募ったことから始まったチームです。地域とのコミュニケーションを目的に結成されました。

今年は、広島県社会人リーグで準優勝を勝ち取り、広島県の代表として、中国地域県サッカーリーグ決勝大会に挑戦しました。結果、2勝して中国リーグへの昇格が決まりました。

来年は、中国リーグでの闘い。更にレベルの高い場で、厳しい戦いが待っていると思いますが、皆様の応援を期待しています。

<剣道倶楽部>



広島県実業団剣道大会にて



7名で活動中。

昨年に続き、広島県実業団剣道大会個人戦で準優勝することができました。

社内での稽古に加え、地域の方との合同稽古に日々汗を流しています。

今では、部員全員が参加し、子どもたちへの指導や、子ども達の試合の審判など、地域に根付いた活動をしています。

その他の活動報告 (地域貢献を目指して :その3)



スポーツ活動を通しての地域交流

< 福山市市民硬式卓球交流会 >

選手達にチャレンジする参加者



指導風景



指導風景



今年、市民との交流の場として、福山市市民硬式卓球交流会が開催。約 250 名の方が参加されました。当社の卓球部員も指導として参加。皆様の基本技術の向上の手助けをさせていただきました。

交流会では、エキシビジョンマッチとして「原田鋼業 VS 福山市卓球協会選抜」の試合も行われ、選手の素晴らしいプレーには大きな歓声があがり、当社の社員もどこか誇らしげな様子。

また、指導者へのチャレンジマッチなどのイベントも行われ、挑戦者の鋭い打球にタジタジとなる指導者の姿もあり、挑戦した人のみならず、見ていた皆様も楽しんで下さったようです。

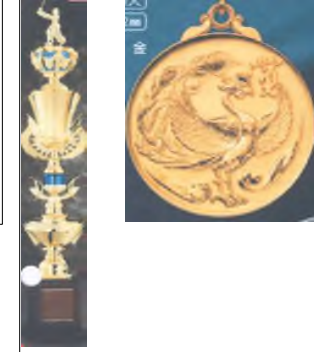
本当に、活気にあふれた楽しい一日でした。

< 地元小学生サッカー杯への協賛 >

地元チームの 6 年生



優勝チームには
トロフィーとメダルが



低学年、幼稚園児も参加



とても仲良し



フットボールクラブも卓球部に負けていません。
地元小学生のサッカーチームの指導を毎週行っています。
大津野杯という地元小学生のためのサッカー大会が開催され、白熱した戦いを見せてくれました。

当社も企業として協賛させていただき、優勝から3位までのチームに授与されるトロフィーやメダルを用意しました。

子供たちは、優勝を目指して元気いっぱい走り回り、一生懸命試合に取り組んでいました。

その他の活動報告 (世界の子供たちのために)



マラリア撲滅運動への参加 「JCI Nothing But Nets キャンペーン」

UNITED NATIONS 国連基金協働事業
JCI Nothing But Nets キャンペーン

マラリア撲滅運動
マラリアは夜行性の蚊を媒体とする死亡率の高い感染症であり、毎年2億4700万人が感染し100万人の若い命が失われています。その多くは5歳以下の幼い子どもたちです。
感染を防ぐ最も効果的な対策として、国連が推奨する殺虫効果のある蚊帳の中で就寝することが有効であると実証されています。
この殺虫効果のある蚊帳をひとつの家庭に配布する費用は、たったの1,000円です。
私たち全国70社の青年会議所メンバーは尊い命を救うために、地域の皆様と共にマラリアと戦います。

あなたの一本が命を救う
この販売機の売上げの一部でマラリアに苦しむ子どもたちの命を救うネットを購入させていただきます。お買い上げ頂きありがとうございます。

お問い合わせ先
JCI



本社



大阪支店



東京支店



国際青年会議所と国連基金との共同事業の一つである「JCI Nothing But Nets キャンペーン」に、当社も参加しています。

写真のような自動販売機で飲料を買うと一定金額が寄付され、殺虫剤処理された蚊帳がアフリカに送られるという仕組みです。

2012年3月より、この自動販売機を本社、大阪支店、東京支店の3箇所に設置しました。

社員や近隣の方の協力もあり、義援金も2012年は33,796円、2013年は52,913円、2014年は57,254円、2015年は57,492円、2016年は59,577円、2017年は59,593円と、継続して寄付することができました。

エコキャップ運動への参加

地球に愛を 子どもに愛を
ペットボトルのキャップを集めて
世界の子供たちにワクチンを届けよう!

ゴミとして処分されれば
キャップ430個で3,150g
のCO₂が発生します。

あなたの行動が世界の子供と地球の未来を創ります!
小さなキャップでも、分ければ資源!
リサイクルして循環する材料に。
ペットボトルのキャップをみんなで集めよう!
キャップは430個で10円になります。
ポリオワクチンは1人分20円!
キャップ860個で一人の子どもの命が救えます。

※飲料メーカー各社の製造施設によりキャップの集積方法が異なります。

キャップ回収
エコキャップ運動
NPO法人(非営利団体)
エコキャップ推進協会
ECOCAP
TEL: 046-848-0258 FAX: 046-848-0259
http://ecocap007.com

事務所で



イベント会場で



家庭で集めて



2012年から始めたばかりのエコキャップ運動ですが、本社及び各支店に回収BOXを常設するとともに、会社のイベント等では会場に回収BOXを設置。来訪された方々へも協力の呼び掛けを行って参りました。

最近では、わざわざ当社にキャップを持って来てくださる方も増えてきました。

皆様のお蔭で、2012年は約2,800個、2013年は約3,500個、2014年は約3,800個、2015年は約3,900個、2016年は約4,500個、2017年は約4,600個と徐々にではありますが、集まる数も増えていきます。

その他の活動報告 (世界への働き掛け)

各地の青年経済人へ SDGs の呼びかけ (香港・台湾・ベトナム・インドネシア)

ベトナム会場



香港会場



ベトナム会場の皆さん

台湾会場



香港会場の皆さん

2017年は弊社社長がアジア各地の青年経済人向け講演会にてSDGs等の啓蒙活動を実施しました。

2月26日の香港では約100名の、3月29日のベトナム・ホーチミン市では約60名の、4月16日の台湾・嘉義市では約40名の、10月3日のインドネシア・ジャカルタ市では約15名の参加者に対して、持続可能な開発目標 (SDGs) とグローバルコンパクトについて講演し、極度の貧困に終止符を打ち、持続可能な発展を目指し、すべての人が平和と豊かさを享受できる社会を目指した普遍的な行動を呼び掛けています。